



## 2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月8日

上場会社名 西尾レントオール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9699 URL http://www.nishio-rent.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 公志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役本社管理部門管掌 兼 社長室長 (氏名) 四元 一夫 TEL 06 (6251) 7302  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第2四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	83,587	6.0	9,971	2.9	9,700	2.8	6,065	2.0
2019年9月期第2四半期	78,880	13.9	9,691	7.6	9,437	5.0	5,946	4.6

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 6,898百万円 (14.5%) 2019年9月期第2四半期 6,026百万円 (△2.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	218.58	218.42
2019年9月期第2四半期	212.10	211.94

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	226,236	104,239	44.4
2019年9月期	214,944	99,225	44.6

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 100,443百万円 2019年9月期 95,789百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	77.00	77.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,540	△2.2	10,800	△31.0	10,100	△32.8	5,770	△40.5	207.94

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	28,391,464株	2019年9月期	28,391,464株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	642,951株	2019年9月期	644,492株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	27,747,612株	2019年9月期2Q	28,035,156株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、リスクや不確定要素が含まれており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。従いまして、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等により実際の業績が記載の金額と大幅に異なる可能性がありますのでご承知おきください。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信 [添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年10月1日から2020年3月31日)におけるわが国経済は、企業収益や設備投資が堅調に推移していたものの、新型コロナウイルス感染症による世界的な経済活動の停滞により、先行きは不透明な状況となりました。

建設業界においては、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、首都圏の再開工や各地の建築工事、交通インフラ新設・補修工事等が引続き順調に推移しました。また、2019年の台風被害の災害復旧・防災関連工事の入札が本格的に始まりました。

このような状況下、当社グループ(当社及び連結子会社)は、国内市場の深耕のため、ICT施工・i-Constructionやインフラメンテナンス、プラント分野ではオリジナル商品・システムの充実や無人店舗を含めたネットワークの強化を、イベント分野ではオリンピック・パラリンピックに向けた営業活動に注力をしてまいりました。また、東南アジア・オーストラリア市場の更なる拡大、無人化・シェアリングのノウハウを活かした事業インフラの革新にも取り組んでおります。

その結果、連結売上高は83,587百万円(前年同四半期比106.0%)、営業利益9,971百万円(同102.9%)、経常利益9,700百万円(同102.8%)、親会社株主に帰属する四半期純利益6,065百万円(同102.0%)となりました。また、EBITDAは25,748百万円(同108.9%)と引続き増加となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

## 〔レンタル関連事業〕

道路・土木関連分野では、ICT施工・i-Constructionにおいてコンパクトトラックローダーの提案営業やこれまで培ってきた対応力により売上を伸ばした他、各地の交通インフラの新設・補修工事向けの売上が堅調でした。また、今後本格化する災害復旧工事に向け、地元ユーザーの深耕を進めました。

建築・設備関連分野では、首都圏の再開工事が順次竣工を迎えています。継続案件に加え、各地で物流倉庫新築工事の着工も続き、売上を確保しました。プラント分野では、揚重機や車両、クローラクレーン等の受注が順調に進み、建設工事を中心に売上を伸ばしました。

イベント分野では、2月までは総合展やプライベートショー、eスポーツイベント等での受注は想定通り進みましたが、3月はイベント自粛により売上に影響を与えました。

その結果、売上高は81,281百万円(前年同四半期比106.3%)、営業利益9,651百万円(同104.4%)となりました。

## 〔その他〕

海外製ダンプトラックや大型土木現場向けのバッテリー機関車の販売の他、メンテナンスによる売上も貢献しましたが、売上高は2,306百万円(前年同四半期比94.2%)、営業利益287百万円(同64.3%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、226,236百万円と、対前連結会計年度末比で105.3%、11,291百万円の増加となりました。主な要因は受取手形及び売掛金の増加2,418百万円、原材料及び貯蔵品の増加1,240百万円、流動資産・その他に含まれる設備立替金の増加2,449百万円、貸与資産の増加3,554百万円及び土地の増加7,119百万円、並びに現金及び預金の減少6,403百万円であります。

負債合計は、121,997百万円と、対前連結会計年度末比で105.4%、6,278百万円の増加となりました。主な要因は支払手形及び買掛金の増加1,195百万円、流動負債・その他に含まれる設備関係未払金の増加1,511百万円及びリース債務の増加3,100百万円であります。

純資産合計は、104,239百万円と、対前連結会計年度末比で105.1%、5,013百万円の増加となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末残高から6,409百万円減少し、25,052百万円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とその要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、10,640百万円（前年同四半期比2,535百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益9,582百万円（前年同四半期比156百万円の増加）の他、減価償却費13,046百万円、賃貸資産の取得による支出8,809百万円及び法人税等の支払額3,278百万円によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、9,320百万円（前年同四半期は3,393百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9,324百万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、7,704百万円（前年同四半期は3,946百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入3,662百万円に対し、有利子負債の返済による支出9,434百万円が上回ったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、下期の業績に影響を及ぼすことが予想されますので、2019年11月8日に公表しました業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2020年5月8日）公表いたしました「2020年9月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,673	25,269
受取手形及び売掛金	42,704	45,122
商品及び製品	2,519	2,465
仕掛品	1,309	1,223
原材料及び貯蔵品	1,202	2,443
その他	8,372	11,067
貸倒引当金	△441	△448
流動資産合計	87,340	87,143
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産(純額)	72,660	76,214
土地	25,881	33,001
その他(純額)	18,756	19,344
有形固定資産合計	117,298	128,559
無形固定資産		
のれん	3,240	2,943
その他	1,289	1,302
無形固定資産合計	4,530	4,245
投資その他の資産		
その他	6,151	6,675
貸倒引当金	△375	△388
投資その他の資産合計	5,775	6,287
固定資産合計	127,604	139,093
資産合計	214,944	226,236
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,945	24,140
短期借入金	4,467	4,264
1年内返済予定の長期借入金	5,051	3,891
1年内償還予定の社債	466	386
リース債務	11,592	12,538
未払法人税等	3,155	3,249
賞与引当金	2,329	2,356
役員賞与引当金	157	103
災害損失引当金	—	67
その他	21,303	23,316
流動負債合計	71,468	74,314

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>固定負債</b>		
社債	1,396	1,200
長期借入金	12,828	14,283
リース債務	27,338	29,492
役員退職慰労引当金	221	220
退職給付に係る負債	772	803
資産除去債務	872	909
その他	820	774
<b>固定負債合計</b>	<b>44,250</b>	<b>47,682</b>
<b>負債合計</b>	<b>115,718</b>	<b>121,997</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,100	8,100
資本剰余金	9,559	9,618
利益剰余金	80,520	84,642
自己株式	△1,925	△1,921
<b>株主資本合計</b>	<b>96,254</b>	<b>100,441</b>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	164	208
繰延ヘッジ損益	2	2
為替換算調整勘定	△633	△207
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>△465</b>	<b>2</b>
新株予約権	30	30
非支配株主持分	3,406	3,765
<b>純資産合計</b>	<b>99,225</b>	<b>104,239</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>214,944</b>	<b>226,236</b>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	78,880	83,587
売上原価	45,976	48,539
売上総利益	32,904	35,048
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	83	87
給料及び賞与	8,099	8,545
賞与引当金繰入額	2,077	2,286
役員賞与引当金繰入額	93	104
退職給付費用	216	263
役員退職慰労引当金繰入額	12	20
その他	12,628	13,768
販売費及び一般管理費合計	23,213	25,077
営業利益	9,691	9,971
営業外収益		
受取利息	29	26
受取配当金	4	5
その他	310	389
営業外収益合計	344	421
営業外費用		
支払利息	402	496
為替差損	102	125
その他	92	69
営業外費用合計	598	692
経常利益	9,437	9,700
特別利益		
固定資産売却益	9	92
収用補償金	—	25
受取保険金	—	55
特別利益合計	9	172
特別損失		
固定資産除売却損	21	114
災害による損失	—	176
特別損失合計	21	291
税金等調整前四半期純利益	9,425	9,582
法人税、住民税及び事業税	3,471	3,340
法人税等調整額	△228	△71
法人税等合計	3,242	3,269
四半期純利益	6,182	6,313
非支配株主に帰属する四半期純利益	236	248
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,946	6,065



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	6,182	6,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	43
繰延ヘッジ損益	△2	△0
為替換算調整勘定	△115	542
その他の包括利益合計	△156	585
四半期包括利益	6,026	6,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,787	6,527
非支配株主に係る四半期包括利益	238	371

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	9,425	9,582
減価償却費	11,474	13,046
のれん償却額	259	338
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	14	11
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△80	25
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△54	△53
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	25	28
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12	△1
受取利息及び受取配当金	△34	△32
支払利息	402	496
固定資産除売却損益 (△は益)	11	22
災害による損失	—	176
賃貸資産の売却による原価振替高	325	191
賃貸資産の取得による支出	△7,536	△8,809
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,859	△2,324
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△676	△394
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,396	1,181
その他	△565	909
小計	11,516	14,394
利息及び配当金の受取額	34	32
利息の支払額	△389	△507
法人税等の支払額	△3,056	△3,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,105	10,640
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△213	△218
定期預金の払戻による収入	210	212
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△28	△7
有形固定資産の取得による支出	△3,241	△9,324
有形固定資産の売却による収入	25	339
無形固定資産の取得による支出	△165	△66
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
長期貸付けによる支出	△11	△190
長期貸付金の回収による収入	19	1
敷金及び保証金の差入による支出	△32	△121
敷金及び保証金の回収による収入	45	54
その他	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,393	△9,320

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,380	△42
長期借入れによる収入	2,518	3,662
長期借入金の返済による支出	△1,656	△3,435
社債の発行による収入	1,478	—
社債の償還による支出	△294	△275
リース債務の返済による支出	△5,014	△5,662
割賦債務の返済による支出	△17	△18
子会社の自己株式の取得による支出	△241	△53
配当金の支払額	△1,962	△1,942
非支配株主への配当金の支払額	△136	△127
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	191
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,946	△7,704
現金及び現金同等物に係る換算差額	22	△25
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	787	△6,409
現金及び現金同等物の期首残高	28,692	31,462
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,479	25,052

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(国際財務報告基準第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、第1四半期連結会計期間の期首より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上することとしました。

IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っており、会計方針の変更による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

なお、当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	76,431	2,449	78,880	—	78,880
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16	202	218	△218	—
計	76,447	2,651	79,098	△218	78,880
セグメント利益	9,248	447	9,696	△5	9,691

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋳螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△5百万円には、セグメント間取引消去△5百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告 セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	レンタル関連 事業				
売上高					
外部顧客への売上高	81,281	2,306	83,587	—	83,587
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11	214	225	△225	—
計	81,292	2,520	83,813	△225	83,587
セグメント利益	9,651	287	9,939	31	9,971

(注) 1. 「その他」区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、鋸螺類の製造、建設工事用機械の製造、保険・不動産賃貸業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額31百万円には、セグメント間取引消去31百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。